

平成28年度島根大学大学院
教育学研究科入試問題（Ⅱ期）
《臨床心理専攻》
専門科目（臨床心理学）

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 3枚、解答用紙 4枚、下書き用紙1枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。

受験番号

《臨床心理専攻》

専門科目 問題

1 Erikson,E.H.が提唱したライフサイクル理論について、以下の問いに答えよ。

発達段階	心理・性的段階	発達課題 VS 心理社会的危機
I 乳児期	①	a
II 幼児期	肛門期	b
III 遊戯期	②	c
IV 学童期	潜伏期	d
V 青年期	③	e
VI 成人期		f
VII 壮年期		g
VIII 老年期		h

問1. 上の表は、Erikson,E.H.が提唱したライフサイクル理論をまとめたものである

(1) 各発達段階を心理・性的段階でみたとき①～③にあてはまる期を答えよ。

(2) 各発達段階には、その時期におとずれる発達課題と、それに伴う心理社会的危機が想定されます。各時期にあてはまる発達課題と心理社会的危機を以下から選び答えよ。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| (ア) 勤勉性 VS 劣等感 | (イ) 自主性 VS 罪悪感 |
| (ウ) 統合 VS 絶望 | (エ) 基本的信頼感 VS 基本的不信感 |
| (オ) 同一性 VS 同一性の拡散 | (カ) 親密 VS 孤独 |
| (キ) 生殖性 VS 停滞性 | (ク) 自律性 VS 恥・疑惑 |

問2. Erikson,E.H.は、8つの段階の中でも特に青年期の課題であるアイデンティティの確立の重要性を説いています。このアイデンティティについて、3つの基本的要素に触れながら説明せよ。

2 以下の文章を読んで、間に答えよ。

精神分析の創始者であるフロイト、S. は、（あ）患者に対する治療経験からその理論の基礎を築いている。彼は神経学的になんら問題のない（あ）患者の訴える身体症状を、意識から（い）された体験が身体に転化したものとして理解し、われわれの心には意識、（う）、無意識という心の領域が存在することを仮定している。

一方、分析心理学の創始者であるユング、C. G. は、（え）検査をさまざまな患者に実践する中から本人が意識化したくない心の領域を見出し、（お）と名づけた。

（え）によって見出される（お）の領域は、フロイトが（あ）患者から見出した無意識の存在を裏づけることになった。

問1. 文中の（あ）～（お）にあてはまる言葉を以下から選び答えよ。

- ・言語連想
- ・否認
- ・統合失調症
- ・抑圧
- ・ヒステリー
- ・隔離
- ・ロールシャッハ
- ・うつ病
- ・文章完成法
- ・前意識
- ・コンプレックス
- ・自我
- ・超自我
- ・トラウマ

問2. フロイトとユングの無意識に対する考え方の違いを 150 字程度で答えよ。

3 プレイセラピーにおいては、基本的にセラピストの側から特定の遊びを指定して子どもに遊ばせることは非常に稀であり、子どもが興味をもちそうな遊びに誘ったり、訓練として効果的な遊びや行動のプログラムを提供することはない。この理由を、プレイセラピーの意義や目的との関連で説明せよ。

4 以下の事例をふまえた上で設問に答えよ。

<事例>

あなたは高校のスクールカウンセラー(以下、SC)です。高校3年女子のAさんと継続面接をしています。Aさんは「いろいろなことが気になる。」と言いますが、非常に警戒心が強く、なかなか困っていることを話してくれません。しかし、回数を重ねるうちにAさんの主訴がだんだん分かってきました。

a. 汚れが取れたかどうかが気になって、納得がいくまで手洗いを何回もくり返しているようです。また、Aさんは友だちに対してネガティブな気持ちをもってはいけないとの考えが強く、少しでも友だちを責めるような考えが浮かぶと、すかさず自分を否定するという癖がありました。それが次第に、b. 「さつき、自分は相手に“うざい”という言葉を言ってしまったのではないか?」「多分言っていないと思う。…けど、言ってしまったんじゃない?…確証がない。」という葛藤が生じ混乱してしまう、ということが少しずつ分かってきました。混乱が極まるリストカットをしたりすることもあると言います。

あるとき、心療内科を受診したAさんは、医師から「思春期の[A]は、後々、統合失調症発症の可能性もある」と言われた、とSCであるあなたに報告してくれました。そして、Aさんはc. 「統合失調症ってどんな病気ですか?私はその病気だということですか?」とあなたに尋ねてきました。

さらに、面接を重ねたある回で、Aさんは d. 「時々、自分はここに居るのかな?って分からなくなる。ふわーっとしてるときがあって。あれ?いま自分、どっか行ってたな…って思って…。」と話してくれました。

問1: [A]には、下線 a. 下線 b.といった症状を有する疾患名が当てはまります。[A]に当てはまる疾患名について述べなさい。また、その疾患について、あなたが知っている事柄について、できるだけ詳しく説明しなさい。

問2: 下線c.について

統合失調症とはどのような疾患でしょうか。できるだけ詳しく説明しなさい。

問3: 下線c.について

SCであるあなたは、Aさんのこの質問に対して、どのように答えますか。実際の場面を想定し、具体的な文言を口語体で述べなさい。

問4: 下線 a.b.c.d.について

下線 a.b.c.d.をふまえた上で、あなたは Aさんの状況をどのように見立てますか。できるだけ詳しく説明しなさい。